

内容	詳細
適用製品	コピーガード USB メモリ製品 コンテンツガード、ハイパーセキュリティー、ハイパープラス
対象バージョン	Ver4～Ver5 → Ver6.1
Ver6.1 の主な機能	Windows10 対応、自動更新機能など
注意事項	①更新ソフト Verup2.exe 単体では動作しません。実行には Verup2.exe と同じ階層に .cfg フォルダが必要です。 ②コンテンツ表示中に更新処理はできません。
使い方	更新対象の USB メモリを挿入してから Verup2 をダブルクリックして実行します。
変更されないもの	更新プログラムは必要なシステムファイルのみ更新されます。 各種設定情報、コンテンツは変更されません。



各項目説明は次ページ参照

項目	説明
ドライブ指定	対象 USB メモリのドライブ名が表示されます。E: F: 等更新する USB ドライブを選択して下さい。
使用許諾確認	上記内容に同意します。にチェックを入れて下さい。
旧システムを削除後に更新する	更新前のシステムファイルは全て VerUP2 の実行フォルダにコピーバックアップされます。 「旧システムを削除後に更新する」にチェックを入れると説明書.PDF などを含み全てのデータを削除してから更新します。 更新プログラム VerUP は変更のあったシステムファイルのみを更新します。通常は OFF のままでご利用下さい。
書き込み禁止にする	ウイルスなどの感染を防止する為に空き容量をゼロにする事ができます。「書き込み禁止にする」を OFF にした状態で更新すると空き容量を解放します。
開始ボタン	「上記内容に同意します」に同意された場合に開始ボタンをクリックする事ができます。
キャンセル	プログラムを終了します。

■事前に知っておくべき情報

- ・更新プログラムは複数本を連続して更新ができます。
- ・更新プログラムを実行するパソコンに UsbQuickStart がセットアップされている場合は、アンインストールされます。
- ・保護領域表示中に更新を行うと強制的に非保護領域へ移動します。コンテンツを表示している場合は、閲覧ソフトが強制終了されますのでご注意ください。スムーズな更新作業を行う為にコンテンツは表示しない状態で更新処理を行って下さい。

■旧バージョンとの大きな違い

管理ソフト UsbManage の実行方法が変更になりました。

管理ソフト UsbManage は Ver5 までは USB メモリ内から実行が必要でしたが Ver6 以降はデスクトップなどから実行する事ができます。Ver6 の管理ソフト UsbManage ではセキュリティー強化の理由で「非保護領域の空き容量をゼロにする」という機能があります。USB メモリ内で UsbManange を実行した場合、空き容量をゼロした後に UsbManage を削除すると UsbManage の容量分の空きが残り空き容量がゼロになりません。

自動更新機能について

Ver6 以降はシステムの自動更新機能があります。自動更新機能を利用するには UsbManange の「起動設定」で設定します。更新チェックは UsbStart 実行にインターネット回線を通じ 30 日間間隔で行われます。更新があれば確認画面が表示され利用者でシステム更新をする事ができます。